

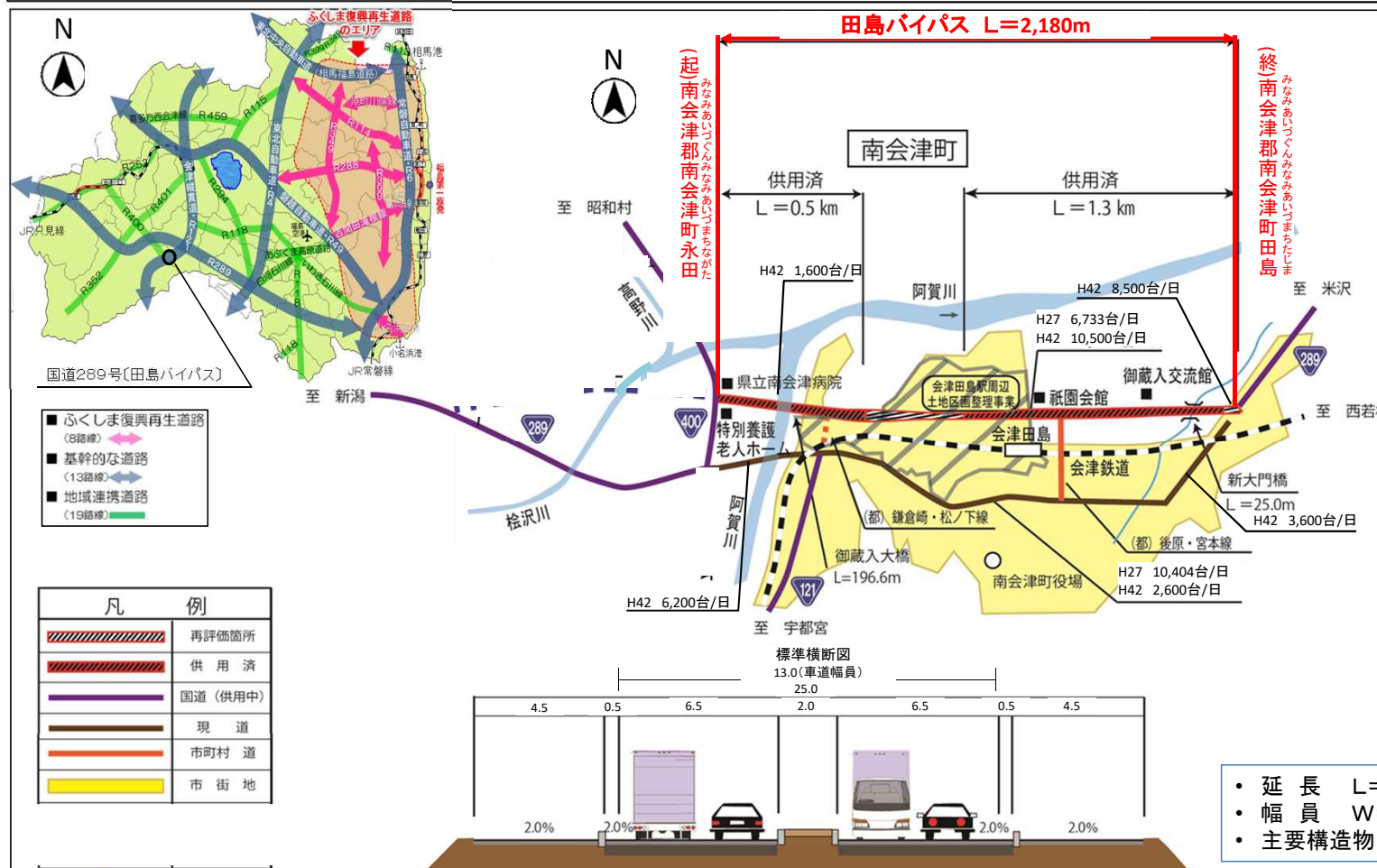
整理番号	109	事業名 〔地区名〕	交付金事業(道路)(再生・復興) 〔南会津町 国道289号 田島バイパス〕	全体事業費 (百万円)	3,326	採択年度	H7	完成目標年度*	R2 (H32)	担当部(局)課名	土木部 道路整備課
------	-----	--------------	--	----------------	-------	------	----	---------	-------------	----------	-----------

※完成目標年度は、標準的な工程を想定して設定しているが、毎年度の予算は担保されたものではなく、用地取得状況や施工上の条件変化等、不確定な要素があるため、確定したものではない。

評価対象理由	前回評価時(平成26年度)から5年経過で継続中	前回評価時の対応方針	委員会からの提言: 事業継続、付帯意見等: 無し、県の対応方針: 事業継続
--------	-------------------------	------------	---------------------------------------

1 事業の概要

- 国道289号(田島バイパス)は、本県の多極ネットワークの形成に向けた南部軸を構成する重要な路線であり、「福島県総合計画(ふくしま新生プラン)」及び「福島県復興計画(第3次)」の「復興まちづくり・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト」や緊急輸送道路(第一次確保路線)に位置付けられている。
- 南会津町(旧田島町)中心市街地の交通混雑の解消や主要拠点と接続する緊急輸送道路の機能強化、区画整理事業に合わせたまちづくりの支援を図るものである。



国道289号(田島バイパス)の整備効果

- 南会津町(旧田島町)中心市街地の混雑解消により良好な市街地環境の形成
- 災害に強いネットワーク
災害発生時に主要拠点と接続する緊急輸送道路の機能強化
- 救急搬送時間の短縮



- 延長 L=2.180m
- 幅員 W=13.0(25.0)m
- 主要構造物 御蔵入大橋L=196.6m, 新大門橋L=25.0m

2 事業の進捗状況等

評価基準 A:特に問題なし、B:問題あるが解決の見込みあり、C:問題があり解決が難しい

(百万円)

全体事業費		事業 執行済額	年度別執行額	
前回	今回 (前回差比)		～30年度	31年度見込
3,326	3,326 (±0%)	3,079	3,079	98

(1)現状及び見通し [評価(A)・B・C]

- 平成6年7月15日に都市計画決定している。
- 平成25年度までに、主要構造物である御蔵入大橋(L=196.6m)、新大門橋(L=25m)を含むL=1.8kmを暫定2車線で供用している。
- 工事は、平成30年度末までに93%完了。
- 平成31年度～令和2年度に新橋(新大門橋)の上下部工を施工する予定。

(2)期待される効果 [評価(A)・B・C]

- バイパス整備により、南会津町中心部の交通混雑解消により良好な市街地環境の形成が期待される。
- 災害発生時に主要拠点と接続する緊急輸送道路の機能強化により、救急搬送時間の短縮を図る。
- 南部軸を構成する重要な路線であり、本県の多極ネットワークの機能強化を図る。

(3)事業を巡る社会経済情勢の現状・変化、地元住民等の意向 [評価(A)・B・C]

- 町長及び地元から南会津町(旧田島町)中心市街地の混雑緩和及び良好な市街地環境の形成に不可欠な当バイパスの整備を強く要望されている。
- また、南会津町長をはじめとする国道289号沿線の市町村長で構成される「国道289号(棚倉～下郷)建設促進期成同盟会」等より早期整備を要望されている。

(4)評価指標の状況 [評価(A)・B・C]

評価指標	採択時 (H7)	前回 (H26)	完成時 (R2)	備考
交通混雑区間	2.5km	1.6km	0km	
鉄道交差箇所	1箇所	0箇所	0箇所	

【その他参考となる数値】

・現況交通量(H27)10,404台/日(現道) → 計画交通量(H42(R12))10,505台/日(バイパス)

(5)費用対効果の状況・要因の変化 [評価(A)・B・C]

$$B/C = \frac{78.2+8.1+2.1}{53.9+2.5} = 1.57 \quad (\text{前回値} 1.28)$$

- ・[B]道路事業における総便益(走行時間短縮便益+走行経費減少便益+交通事故減少便益の合計)
- ・[C]道路事業に要する総費用(道路整備に要する事業費+道路維持管理に要する費用の合計)
- ・近隣の(都)鎌倉崎・松ノ下線の整備完成を考慮すると、バイパス部において利用者の増加が見込まれ、総便益(B)が増加することから、費用対効果が増加した。

【参考値】

$$B/C = \frac{78.2+8.1+2.1+18.04^{*1}}{53.9+2.5} \times 1.642^{*2} = 3.10$$

*1:追加便益:18.04億円(救命救急へのアクセス向上効果、CO2排出削減効果、冬期交通の確保)

*2:地域修正係数:1.642(会津)

(6)コスト削減の取組・代替案の検討状況 [評価(A)・B・C]

- ・再生路盤材や再生アスファルト合材の活用を積極的に進めている。
- ・御蔵入大橋に耐候性鋼材を採用し、ライフサイクルコストの低減を図った。
- ・部分供用済みであり、残事業区間も用地取得が進んでいるため、ルート変更の可能性はない。

3 評価

(1)県の対応方針案	(2)理由
事業継続	前回評価時と同様の効果発現が見込まれ、交通混雑の解消や緊急輸送道路の機能強化に寄与するため、現計画のとおり事業を進める必要がある。